

九月（今月の揭示板）

真宗示大谷派・願成寺

仏法を聞くとは、本当の自分を知ることです

仏法とは『仏（お釈迦様）が説かれた教え（法＝眞実）』です。仏法を聞くと、良い人間になれるのではなく、自分勝手に腹を立てている私の姿が見えて来るのです。人間の生きる世界（此岸）は、『損か・得か、敵か・味方か』という濁った世の中で、自分が順調な時は、我を張ったり・周りの人をイジメ・差別したりします。が、この世は常に変化し（無常）、若い時はバリバリ働いたが、年を取ると役に立たない私と思い、情けなくなったりします。極楽浄土（彼岸）は『極めて（非常に）楽で・阿弥陀仏の手の上に支えられ・安心して生きて行ける土地』です。『地獄・極楽は（人間の）心』この世にあり（諺）で、金儲けなどに拘ると周りの人をも苦しめ・腹を立てたらダメだと思っても腹は立ち・地獄の生活になります。仏法（念仏の教え）により、『煩惱一杯の私』と目覚めると、多数の人と自然に助けられ・生かされている私と自覚でき・皆と共に（極楽浄土での）生きる喜びを味わえます。